

日本の実力者たち（4）

突然ですが、江戸幕府の将軍って何人いましたっけ？

そうです。15人でしたね。そして、15人の将軍については、全員をしっかりと覚えてくださいね。

ちなみに、前号でふれた鎌倉幕府の将軍は何人いましたっけ？ 室町幕府の将軍は何人いましたか？

答えは、鎌倉幕府の場合は9人、室町幕府の場合は15人でしたね。

ただし、鎌倉幕府や室町幕府の場合は、将軍の名前を全員覚える必要はありません。ここで紹介している将軍は覚えなければなりません。それ以外は入試に出ることはほとんどありません。しかし、江戸幕府の将軍は15人全員覚えてください。

もちろん、頻度の高い人とそうでない人がいますが、江戸幕府の場合は確実に15人の将軍の名前はもちろん、順番、それぞれの業績や関連事項をおさえておきましょう。

さあ、チェックしていきましょう！！

江戸幕府の将軍＝15人

- (1) 江戸幕府初代将軍。三河の小大名出身で、1600年天下分け目の関ヶ原の戦いで勝利、1603年に征夷大将軍に任じられる。1614・1615年の大坂冬の陣・夏の陣で豊臣家を滅ぼした。
- (2) 第2代将軍で(1)の子。1615年に武家諸法度（元和令）や禁中並公家諸法度などを定め、幕政確立に努めた。代始めに武家諸法度違反で福島正則を改易した。
- (3) 第3代将軍で(2)の子。1635年に武家諸法度（寛永令）を定め、参勤交代の制度化、ならびに大船建造の禁止など鎖国制度を断行し、幕府の支配体制を確立した。1637年に島原の乱が起き、キリシタンを禁圧した。
- (4) 第4代将軍で(3)の子。保科正之らの補佐を得て、武断政治から文治政治へと転換させた。1651年慶安の変（由井正雪の乱）を契機に末期養子の禁の緩和、1663年には殉死の禁止、1665年には大名の人質廃止、など（寛文の2大美事）を行った。
- (5) 第5代将軍。(3)の子で、館林藩主から将軍へ就任した。大老堀田正俊の補佐で天和の治と呼ばれる文治政治を推進。後に側用人が台頭した。生類憐みの令、元禄金銀、天文方・歌学方の

設置などを行った。

- (6) 第6代将軍で、甲府藩主であった綱豊が将軍に就任し改名した。新井白石を登用し正徳の治を推進し、朝鮮通信使の待遇簡素化を図った。
- (7) 第7代将軍で、(6)の子。幼少で将軍職を継ぎ、新井白石や間部詮房に補佐されて諸政の刷新に努めた。1715年に海舶互市新例が発布された。
- (8) 第8代将軍で、紀伊藩主として藩政改革を実施し、将軍となつては、町火消し整備や小石川養生所の設置など享保の改革を断行した。殖産興業に努め、米価安定にも努力し、米将軍と呼ばれた。
- (9) 第9代将軍で、(8)の将軍の子。言語不明瞭で彼の意を理解できた側用人大岡忠光の専権を許し、改革が後退した。
- (10) 第10代将軍で、(9)の子。小姓の頃から田沼意次を重用し、田沼時代が現出した。天明の大飢饉が起きた。
- (11) 第11代将軍で、御三卿の一橋家から将軍となった。松平定信を登用して寛政の改革にあたらせ、改革後も実権を握り続け、大御所時代を現出させた。将軍在位50年は江戸幕府中、最長である。この将軍の時には、1792年にロシアのラックスマンが根室に来航、1804年にはロシアのレザノフが長崎へ来航、1808年にはフェートン号事件、1825年には異国船打ち払い令発布など外交問題が数多く起きている。また、国内的には1805年の関東取り締まり出役の設置、1837年に大塩平八郎の乱が起きている。
- (12) 第12代将軍で、(11)の子。老中水野忠邦に天保の改革を実施させた。水野失脚の後は、阿部正弘を任用して時局に対処したが、ペリー来航直後に没した。1842年に天保の薪水給与令を発布している。
- (13) 第13代将軍で、(12)の子。生来病弱で子がなく、将軍継嗣問題が生じた。薩摩藩主島津斉彬の養女である篤姫が嫁いでいる。1854年には日米和親条約が締結され、アメリカの総領事ハリスと謁見している。
- (14) 第14代将軍で、紀伊藩主。井伊直弼など南紀派に擁立されて1858年に将軍となり、徳川慶福から改名した。1862年に皇女和宮と結婚、1866年の第2次長州征伐の時に大坂城で病死した。このころ、貿易が開始され、1860年には五品江戸廻送令が出されたが効果は少なかった。
- (15) 第15代将軍で、水戸藩主徳川斉昭の子。一橋家の養子となり、将軍継嗣問題で一橋派に押されたが実現しなかった。1862年の文久の改革では将軍後見職につき、1866年には最後の将軍に就任したが、1867年に大政奉還を実施した。

(1) 徳川家康	(2) 徳川秀忠	(3) 徳川家光
(4) 徳川家綱	(5) 徳川綱吉	(6) 徳川家宣
(7) 徳川家継	(8) 徳川吉宗	(9) 徳川家重
(10) 徳川家治	(11) 徳川家斉	(12) 徳川家慶
(13) 徳川家定	(14) 徳川家茂	(15) 徳川慶喜